

平成20年度北九州支部活動報告

北九州支部 竹平 洋幸

北九州支部では、平成20年10月10日に、「これからの川づくり・紫川」と題して、講演会及び現地指導を実施しました。



昨年、紫川の河川改修事業（小倉北区今町、小倉南区下城野地内）において、魚類・鳥類など多数の生物の生息場となっているオオタチヤナギの群落を残し、それと同時に河積断面を確保するため、高水敷を掘削し、低水路、巨石張工や魚巣工を施工しました。これらの中洲や低水路は湾曲部内側に位置するため、低水路の維持をしていくことが課題でした。



そのため今回、水制工や置石工の整備を行い流水を制御し、掃流力をあげることにより、これらの良環境を維持できる計画としています。

この計画に際して、全国で多数の多自然（型）川づくりの河道調査・計画・設計・施工に携わっていらっしゃる（株）西日本科学技術研究所代表取締役の福留脩文氏にご教示頂いています。



今回、河川整備に携わる実務技術者並びに施工者の技術力向上を目的として、これら改修の計画および設計の指導をいただいた福留氏をお招きし、中洲や低水路を維持するための水制施設等の施工に関する現地指導ならびに川づくりに関する講演会を行いました。



現場経験豊富な福留氏の話は大変興味深く、また説得力のあるものでした。

講演会では、川の自然の復元等について、福留氏が携わった現場事例等を交えながら説明していただきました。

現地指導では、石の据え付け方について、実際に石を据えながら指導していただき、また、図示を交えながら説明していただきました。

多数の参加者がいましたが、初心者にも分かりやすく説明していただき、皆納得の様子でした。

今回の活動は大変貴重な経験となりました。今後の業務に活かして欲しいと思います。